

第 66 回宇宙理学委員会 議事録

日時： 2019 年 10 月 4 日（金） 10:45～12:45

場所： 相模原キャンパス 研究・管理棟 1 階 入札会議室

出席者：

倉本委員長、山崎副委員長、今村幹事、篠原幹事、清水幹事、福家幹事、井口委員、
上野（宗）委員、笠羽委員、金田委員（ZOOM）、河合委員、斎藤（義）委員、杉田委員、
関委員、関本委員（ZOOM）、高橋委員、堂谷委員、松原委員、三好（由）委員、
山田（亨）委員、吉田委員、渡邊委員

宇宙研：

藤本副所長、満田宇宙科学プログラムディレクタ

説明者：

春山 月火星の地下空洞直接探査 RG 主査

事務局他：

岸主任、早川

1 前回議事録確認

前回議事録（資料 1-1、1-2）が確認され承認された。

また、前回委員会以降の理学委員会関係の動きが倉本委員長から口頭で報告された。

2 すざく終了審査について（審議）

すざくプロジェクト終了審査に向けた宇宙研所長からの科学的評価の諮問依頼（資料 2）
が倉本委員長、山崎副委員長から説明され、評価委員会の設置が承認された。

3 サブ委員会設置について（報告）

サブ委員会のメンバー一覧（資料 3）が山崎副委員長から報告された。

4 戦略的開発研究費追加公募（報告）

資料 4-1、4-2 に基づき、上野評価委員長から説明された。2つの WG から提案があり、
評価小委員会として審議された結果、2件とも公募型小型のミッション提案を加速する
内容であり、今後必要な活動であると認められたため、採択された。

5 RG 延長審査（月火星の地下空洞直接探査）

資料 5 およびスライドを用いた口頭発表により、春山主査から月火星の地下空洞直接探
査 RG（2016-2018 年度）の 2 年間の延長（～2020 年度）が申請された。質疑応答と
審議の結果、延長が承認された。

6 WG 主査会議の開催について（報告）

資料 6-1、6-2 に基づき、倉本委員長から WG 主査会議の開催に関して報告された。WG との情報共有を図るとともに WG からの要望を受けた。質問窓口を PO 室とし、WG が共有すべき情報は適時 PO 室から WG に流すこととした。

なお、WG からの要望に絡んで、小規模計画の対象範囲が議論され、今後幹事団で要望をまとめて理学委員会に諮ったうえで、宇宙研所長に伝えることとした。

7 WG の終了方法の追加について（審議）

WG から所内チームへの移行する場合の WG 終了方法を定めるべく、資料 7 に基づき、倉本委員長から WG 終了方法の追加案が説明され、審議の結果承認された。

8 系外惑星紫外分光 WG の所内準備チームへの移行について（報告）

資料 8 に基づき、斎藤委員（ISAS 太陽系科学研究系主幹）から系外惑星紫外分光 WG の所内準備チームへの移行について報告された。斎藤主幹は、10 月 2 日に ISAS 執行部に対して、小規模プロジェクト（戦略的海外協同計画）WG である系外惑星紫外分光 WG を移行するかたちで、ロシアの WSO-UV 計画に参加するための計画検討チームを設置することを提案した。今後提案が承認されれば計画検討チームとして Pre-Phase A1a 相当の活動を行う。

これに伴い、戦略的海外共同計画の進め方や日本の宇宙科学における理学委員会の役割などを含む広範な議論が行われた。議論を踏まえ、資料 8 は一部修正される。

9 Athena WG の所内計画チームへの移行と WG 終了について（報告）

資料 9 に基づき、山崎副委員長（Athena 主査代理）から報告された。10 月 1 日に Athena 計画検討チームが所内に設置され Pre-Phase A1b 相当の活動を行うこととなった。チーム長は山崎副委員長。これに伴い当該 WG は終了する。

10 宇宙理学メンバ申請について（審議）

資料 10 に基づき、4 名の宇宙理学班員申請が審議され、承認された。

以上